

## 【学校の課題】

- ・古くからある家庭と拡大する新興住宅地が混在する中、多様な価値観、教育観に対応する学校教育の充実が求められている。
- ・自ら課題を見つけ、そのよりよい解決に向けて自分の言葉で発信したり粘り強く追及したりする力に弱さがある。

## 【学校の教育目標】 目指す子どもの姿

**よく考え 心豊かに たくましく生き抜く子**

## 【めざす学校像】

**ひとりひとりの笑顔が輝く学校**

子どもも職員も元気に楽しく通える学校  
保護者・地域の方から信頼される学校

## 【学校経営の方針】

**子どもに軸足を置く**

## 【国・県・市の方針】

国「令和日本型教育」  
～すべての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～

県「『ふるさと岐阜』で育んだ自信と誇りを胸に、よりよい未来の実現に挑み続ける人」  
～自立力・共生力・創造力～

市「誇り・やさしさ・活力のある児童生徒」  
～一人一人が学ぶ喜びを実感～  
(小・中学校教育指導の方針)

## よく考える

## 心豊かに

## たくましく生き抜く

## 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善の推進

- 学びの礎となる学習習慣（「根拠を基に語る」「仲間の見方や考え方を尊重しながら聞く」と自分の「分からぬい」を表出でき、最後まで粘り強く追究する態度の確立
- 協働的な学びを核として自分の考えを表現し合い、広げ、「できた」「わかった」「楽しい」と感じる自分たちで作る授業の具現
- 自らの課題解決的な学びを通した問題発見力、情報活用能力の育成
- ICT・一人1台タブレットを効果的に活用した新たな学習活動の展開
- 表現力の礎となる語句の量と語彙力を高める読書活動の充実

## 「心のありよう」を問なながら自己理解を図り、他者理解を促す指導の徹底

- 一人一人の思いや願いが大切にされる思いやりに満ちた学級集団づくり
  - ・よいところみつけの充実
  - ・いじめをゆるさない意識の高揚
  - ・SSTによる仲間づくり
- 道徳教育・人権教育・特別支援教育の指導の充実
  - ・多様性を受入れ認め合える心の醸成
- 集団生活の向上をめざした学級の係活動や委員会活動の充実を通した自治と奉仕の心の伸長
- 豊かな人間関係を育むためのペア活動や地域の方とのふれあい体験活動の実践

## 自身の生活を、自らの意思で切り拓き、質を高めることができる指導と環境の充実

- 児童の自覚や気づきを大切にした生活規律の確立（挨拶・掃除・言葉遣い）
- 運動に親しみ、自ら体力向上に努める。（外遊びの推奨・委員会主催の体づくりに関わる活動）
- 相手を思いやる心と一人一人の心のたくましさ増強に焦点を当てたいじめ・不登校対策のための支援体制の充実
- 「キャリア・パスポート」を生かした生き方指導の充実
- 通学班指導を核とした安心・安全な登下校のための実践力の伸長
- 自らのよりよい食生活を築こうとする食育の充実
- 感染症・災害など身の回りの危険に対する自己管理・自己防衛能力の育成

## 【鵜二の伝統】

「気持ちのよいあいさつ」「きれいな学校」「みんななかよし」「美しい歌声」「ボランティア」

## 環境づくり

- 健やかな心と体が育つ、安心・安全で美しい学校環境づくり
- 花や作品に溢れた潤いのある学校環境
- 温かな言葉に満ちた言語環境の充実（ほめ言葉のシャワー、ありがとう、助かるよ）
- 困ったときにいつでも相談できる相談体制の構築、全ての子どもたちの困り感や悩みに、全職員が気付き、見届ける体制

## チーム第2二

## 職員体制づくり

- やる気と笑顔があふれる一枚岩（報連相）の職員集団・職員室
- 子どもの人権を尊重し、共感的理 解に徹する教師、いじめ防止対策に全力を尽くす職員集団
- 指導力向上に向けて、切磋琢磨する職員集団（研修の企画・積極的参加）
- 自らの働き方について考え、見通しを持ち工夫する教師（労務管理）

## 家庭・地域との連携

- 家庭における子どもの居場所づくり（一家庭一実践）
- 地域の人材を活用したふるさと学習の展開
- PTAや外部団体と連携による体験活動の充実
- 地域による安心・安全な登下校の見守り活動
- 中央中学校区コミュニティースクールの取組「自分のことが好きな中央の子」の育成  
～あいさつプラスワン活動～

## 【学校経営実施指標】 ○実証的なP D C Aサイクルの効果的な運用

指標（「鵜二小学校アンケート」選択肢1「当てはまる」にのみ着目する。）	令和4年度 (肢1+肢2)	令和5年度 (肢1+肢2)	令和6年度 (肢1+肢2)	令和7年度 目標値 (肢1+肢2計)
学校に行くのが楽しいと思う児童の割合	本校 54% (90%)	本校 52% (88%)	本校 51% (89%)	60% (計 89%→92%) へ
友達と話し合う活動を通じて、自分の考えを広げ、深めていると思う児童の割合	本校 42% (88%)	本校 44% (80%)	本校 41% (85%)	45% (計 85%→90%) へ